

ルーマニア月報

2025 年 3 月号

本月報はルーマニアの報道をもとに、
日本大使館がとりまとめたものです。

令和 7 年 4 月 11 日
在ルーマニア日本国大使館作成

主要ニュース

【内政】

- 3 月 5 日、検察当局は準軍事組織を設立し活動を行っていたルーマニア市民グループ 6 名を拘束。
- 中央選挙管理局はジョルジエスク元大統領候補及びショショアカ欧州議員（SOS 党首）の大統領選挙の立候補を却下。
- 中央選挙管理局が 11 名の大統領選挙への出馬を認めた。（①ダン（Nicsor Dan）ブカレスト市長（無所属）、②アントネスク（Crin Antonescu）元上院議長（PNL、PSD – PNL – UDMR の統一候補）、③ラスコニ（Elana Lasconi）クンプルング市長（USR、ただし、4 月 10 日の同党の非公式政治委員会で同党の公認が取り下げられ、同党はダン・ブカレスト市長の支持を決定し、4 月 24 日に正式決定する見込み。）、④シャンドル（Lavinia Sandru）PUSL 広報官（PUSL：人文主義社会自由党）、⑤フネリウ（Daniel Funeriu）元教育相（無所属）、⑥シミオン（George Simion）下院議員（AUR）、⑦ポンタ元首相（Victor Ponta）（無所属（PSD から除籍））、⑧テルヘシュ（Cristian Terhes）欧州議会議員（ルーマニア国民保守党（AUR から離党））、⑨プレドイウ（Silviu Predoiu）元対外情報庁副長官（国民行動連盟党）、⑩ポペスク（Sebastian Constantin Popescu）ジャーナリスト（新ルーマニア党）、⑪バヌ・ムスチエル（John-Ion Banu-Muscel）実業家（無所属））

【経済】

- 3 月 27 日、ユーロスタットは、ルーマニアは 2024 年の購買力平価（PPP）換算の 1 人当たり GDP で、EU 加盟 27 カ国中 19 位となり、ポーランドやエストニアと同等の順位となった旨の暫定データを発表。
- 3 月 24 日、南東欧最大の総合エネルギー企業である OMV ペトロムと、ルーマニア最大の天然ガス生産・主要供給会社である ROMGAZ は、黒海の沖合 160km に位置するネプチューン・ディープ・ブロックのペリカン・サウスおよびドミノ天然ガス田の開発・生産に向けた最初の井戸の竣工を発表。

【外政】

- 3 月 20 日、ルーマニア政府は、ウクライナの武力紛争地域からの外国人市民や無国籍者に対する人道的支援と援助を 2025 年 12 月 31 日まで延長する緊急条例の改正を承認。
- 3 月 25 日、米国土安全保障省はルーマニアが米査証免除プログラムへの参加指定されたことについて、ルーマニアが厳格な安全要件を満たしているかどうかの再評価を決定、ビザ免除プログラムへの参加を延期することを発表。

【防衛・安全保障】

- 3 月 25 日、トゥルヴァル国防大臣はルッテ NATO 事務総長と会談。
- ノルウェーから新たに F-16 戦闘機 16 機が本年中にルーマニアに到着予定。

【我が国との関係】

- 対ルーマニア ノン・プロ無償資金協力見返り資金計画「ルーマニア優等情報技術教育促進・支援計画」により、ルーマニア国内の 60 の高校に対する IT 機材の供与を開始。
- 3 月 7 日、日本政府は、令和 6 年度補正予算から UNHCR ルーマニア事務所の 2025 年の活動に 45 万米ドルを拠出。

内政

● ロシア大使館に支援を要請した憲法秩序を脅かす市民グループを拘束

- 3月5日、検察当局は2023年からルーマニアの憲法秩序に影響を与えることを目的として、準軍事組織を設立し活動を行っていたルーマニア市民グループ6名を拘束。
- 3月6日、組織犯罪・テロ捜査検察総局（DIICOT）が、組織的犯罪集団の結成及び国家反逆罪の容疑で捜査されていた6人に拘留を命令。同グループはルーマニア国家の政治・防衛能力を弱体化させることにより、国家の主権と独立を損なうことを目的とした組織的犯罪集団を結成し、目的を達成するために継続的、陰謀的な行動を取り、ルーマニアとロシアの両方に所在する外国勢力のエージェントとも繰り返し連絡を取り合っていた。
- 6名のうち2名はロシアに渡航し、そこで、ルーマニアの国家権力を掌握しようとする組織の努力を支援しようとする人々と接触。

● ジョルジエスク氏及びショショアカ氏の大統領選立候補却下

- 中央選挙管理局はジョルジエスク元大統領候補（3月8日）及びショショアカ欧州議員（SOS党首）（3月15日）の大統領選挙の立候補を却下。
- 3月10日、ジョルジエスク氏は憲法裁判所に本判断の異議申し立てを行ったが、3月11日、憲法裁判所は全会一致で、異議申し立てを棄却することを決定（決定7/2025）。

● 抗議活動

- 3月9日、ジョルジエスク氏の立候補が却下された後、同人の支持者がブカレスト市の中央選挙管理局本部付近で警察と衝突した。メディアの推定によると、約1,000人が参加。デモ隊は中央選挙管理局本部がある旧市街中心部に火を放ち、爆竹、石、ピンを投げつけ、低木やゴミ箱に火を放ち、メディアの車両を転覆。憲兵隊は催涙ガスで介入。数人の憲兵がデモ隊との衝突で負傷。3月10日、国家憲兵隊代表は記者会見で、この衝突で13人の憲兵が負傷し、11の犯罪について3件の刑事訴追を行った（暴行罪：4件、加害者：4人、治安妨害罪：4件、破壊罪：3件、加害者：3人。罰金8件で合計3,200レイ）。
- ジョルジエスク氏の誕生日の3月26日にブカレストで抗議集会を開催する許可を得たことが発表された。抗議は16:00に常設選挙管理局（AEP）前で開始され、17:30から勝利広場に移動した。TikTokのクラブで、シミオンAUR党首は、人々は12:00から憲法広場に集まると語った。ジョルジエスク氏は参加せず。

● 大統領候補者名簿

中央選挙管理局が立候補を認めた大統領選挙立候補者は以下の通り。

- ダン（Nicsor Dan）ブカレスト市長（無所属）
- アントネスク（Crin Antonescu）元上院議長（PNL、PSD－PNL－UDMRの統一候補）
- ラスコニ（Elana Lasconi）クンプルング市長（USR；ただし、選挙管理法では同人の「USR候補」という法的地位は変えられないものの、4月10日に開かれた同党非公式政治委員会の評決により、同人の公認が取り下げられ、USRは党としてダン・ブカレスト市長の支持を決めた。4月24日の公式政治委員会で正式決定される予定。）
- シャンドル（Lavinia Sandru）PUSL広報官（PUSL：人文主義社会自由党）
- フネリウ（Daniel Funeriu）元教育相（無所属）
- シミオン（George Simion）下院議員（AUR）
- ポンタ（Victor Ponta）元首相（無所属（PSDから除籍））
- テルヘシュ（Cristian Terhes）欧州議会議員（ルーマニア国民保守党（AURから離党））
- プレドイウ（Silviu Predoiu）元対外情報庁副長官（国民行動連盟党）
- ポペスク（Sebastian Constantin Popescu）ジャーナリスト（新ルーマニア党）
- バヌ・ムスチエル（John-Ion Banu-Muscel）実業家（無所属）

● 世論調査の結果

Avangarde による世論調査（調査実施期間 3 月 19 日～23 日、対象者：1,300 名、統計上の誤差は±2.3%）

- 次の日曜日に大統領選挙第一回投票が行われる場合、誰に投票するか。
 - ✧ シミオン（George Simion）下院議員（AUR） 30%
 - ✧ アントネスク（Crin Antonescu）元大統領代行・元上院議長（PSD-PNL-UDMR 統一候補） 23%
 - ✧ ダン（Nicusor Dan）ブカレスト市長（無所属） 21%
 - ✧ ポンタ（Victor Ponta）元首相（無所属（PSD から除籍）） 14%
 - ✧ ラスコニ（Elena Lasconi）クンプルング市長(USR) 8%
 - ✧ フネリウ（Daniel Funeriu）元教育相（無所属） 1%

【政党略称】PSD：社会民主党、PNL：国民自由党、AUR：ルーマニア人統一同盟、UDMR：ハンガリー人民主同盟、USR：ルーマニア救国同盟、POT：青年党、PUSL：社会自由ヒューマニスト党、AFD:右派の力連合

経済

（1） 主要経済統計とりまとめ（国家統計局、財務省、ルーマニア中央銀行 発表とりまとめ）

● 国家統計局 （INS）

	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1
貿易収支（億€）	-180.394	-209.199	-234.858	-272.117	-300.549	-333.927	-27.386
消費者物価指数(%)	5.42	5.10	4.62	4.67	5.11	5.14	4.95
失業率（%）	5.7	5.7	5.7	5.7	5.6	5.7	5.5
平均グロス給与（€）	1,726	1,699	1,721	1,732	1,775	1,861	1,793
平均ネット給与（€）	1,054	1,038	1,052	1,060	1,084	1,135	1,072

● 財務省 （MF）

	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1
財政収支（億 lei）	710.418	808.702	962.369	1094.167	1257.192	1527.174	110.118
GDP 比（%）	-4.02	-4.57	-5.44	-6.19	-7.12	-8.65	-0.58

● ルーマニア中央銀行（BNR）

	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1
政策金利（%）	6.75	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50
外貨準備高（億€）	635.79	631.87	657.78	628.41	611.74	621.35	608.37
経常収支（億€）	-151.78	-178.58	-197.77	-242.10	-263.01	-293.70	-16.46
前年同期（億€）	-113.28	-138.30	-160.63	-184.53	-197.70	-214.91	-14.20
FDI（億€）	31.21	41.39	53.62	55.12	58.52	57.30	5.43
前年同期（億€）	39.67	43.82	51.71	59.04	66.11	67.48	11.48
前年同期比（%）	-21.32	-5.54	+3.69	-6.64	-11.5	-15.08	-52.70
中長期対外債務(億€)	1318.51	1333.89	1388.23	1381.98	1537.34	1544.33	1534.61
前年末比（%）	+8.3	+9.2	+13.7	+13.2	+12.2%	+12.7	-0.6
短期対外債務（億€）	484.79	491.35	473.58	481.50	487.20	491.42	484.82
前年末比（%）	+0.3	+6.3	+2.4	+4.2	+5.4	+6.3	-1.3

● 業種別（前年同期比）（国家統計局（INS）・ユーロスタット）

	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1
鉱工業							
工業生産高（%）	-3.9	-2.0	-3.6	-0.9	-1.3	-3.4	2.1
工業売上高(名目)（%）	10.5	4.2	6.0	8.2	5.2	8.6	0.4
工業製品物価指数（%）	2.6	2.7	-1.7	-3.3	-0.4	-0.7	-0.1
新規工業受注高(名目)（%）	7.5	2.7	3.3	7.9	7.1	7.7	-3.5
小売業							
小売業売上高(除:自動車・バイク)（%）	7.4	9.2	10.7	10.6	9.2	7.8	3.2
自動車・バイク売上高(%)	2.3	2.7	-1.6	6.3	5.0	-2.8	1.4
小売業売上高 ユーロ圏平均(%)	-0.1	0.8	2.9	1.9	1.2	1.9	1.5
小売業売上高 EU 平均(%)	0.4	1.0	2.8	2.1	1.5	2.0	1.6
建設業							
工事(%)	-2.3	-2.0	3.0	-11.6	-9.3	-14.3	34.1

● 消費者物価指数（国家統計局（INS）・ユーロスタット）

	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1
消費者物価指数(%)	5.42	5.10	4.62	4.67	5.11	5.14	4.95
食料品価格(%)	1.71	4.25	4.72	4.75	5.11	5.09	4.54
非食量品価格(%)	6.92	4.35	3.30	3.45	4.15	4.38	4.60
サービス価格(%)	8.52	8.60	7.88	7.66	7.56	7.10	6.54
ユーロ圏平均	2.6	2.2	1.7	2.0	2.2	2.4	2.5
EU27 カ国平均	2.8	2.4	2.1	2.3	2.5	2.7	2.8

(2) 主要経済関連

● ルーマニアの失業率、2025 年 1 月は前月比 5.5%に低下

- 3 月 4 日、国家統計局は、2025 年 1 月のルーマニアの失業率は 5.5%で、2024 年 12 月に記録された 5.7%より 0.2%低下した旨発表した。若者（15～24 歳）の失業率は、2024 年 10 月から 12 月にかけて 26.3%と高水準を維持。成人（25～74 歳）の失業率は 2025 年 1 月時点で 4.2%（女性 3.9%、男性 4.5%）と推計された。25～74 歳の失業者数は、2025 年 1 月に推計された失業者数全体の 72%。男女別では、男性の失業率が女性を 0.7 ポイント上回った。

● ルーマニアの対外貿易のうちブカレストの企業は 29.2%を占める

- 3 月 11 日、当地報道機関 Agerpres は、ブカレスト商工会議所と国家統計局の発表したデータを分析し、ブカレストを拠点とする企業が 2024 年 1 月～10 月に行った国際貿易活動は 532 億ユーロに達し、ルーマニアの対外貿易額の 29.2%に相当する旨発表した。なお県別の対外貿易活動はブカレストに続き、イルフォヴ県（8.3%）、ティミシュ県（7.7%）、アルジェシュ県（6.1%）、ブラショフ県（4%）、クルージュ県（3.6%）、ドルジュ県（3.4%）、ブラホヴァ県（3.4%）、アラド県（3.3%）、アルバ県（3.2%）が続いた。また、ブカレストの企業の同期間中の海外向け商品出荷額は 162 億ユーロ（ルーマニアの輸出額の 20.9%）に達し、ティミシュ県（9.3%）、アルジェシュ県（8.1%）、イルフォヴ県（5.7%）、ブラショフ県（5%）、ドルジュ県（4.5%）、アラド県（4.3%）、アルバ県（4%）、ブラホヴァ県（3.5%）、シビウ県（3.3%）が続いた。

● ルーマニアへの純投資額、2024 年は対前年比 4.9%減の約 389.36 億ユーロ

- 3 月 12 日、国家統計局は、ルーマニア経済への純投資額が 2024 年には 2023 年比で 4.9%減の約 389.36 億ユーロになる旨発表した。2024 年の自動車を含む機械・設備への純投資は年間 10.8%減少し、新規建設プロジェクトへの純投資は 5.9%減少した。その他の分野への投資は合わせて 20%増加。部門別の内訳は、多い順に建設部門 38.2%、工業部門が 20.5%、商業・サービス部門も 20.5%。

- **ルーマニアの 2025 年 2 月のインフレ率は 5.02%**

- 3 月 13 日、国家統計局は、ルーマニアの 2025 年 2 月の年間インフレ率は 5.02%だった旨発表した。サービスは 6.4%増、食品は 4.5%増、非食品は 4.7%増。同期間中、サービスでは、郵便（11.63%増）、衛生・化粧品（12.88%増）、上下水道、衛生（10.8%増）、自動車修理（9.71%増）が最も高い値上がりを記録。食品価格ではマーガリン（17%増）、果物・果物缶詰（8.32%増）、野菜・野菜缶詰（7.43%増）、ビール（5.8%増）。非食品では、洗剤（9.64%増）、化学品（7.38%増）、タバコ（8.09%増）、熱エネルギー（6.62%増）などが価格上昇。年初からのインフレ率は 1.8%に到達。

- **ムーディーズ、ルーマニアの格付けを「Baa3」に据え置き、アウトルックを「ネガティブ」に変更**

- 3 月 15 日、ムーディーズ・レーティングスは、ルーマニアの格付けを「Baa3」に据え置いたが、格付けに伴うアウトルックを「安定的」から「ネガティブ」に変更した旨発表した。ネガティブへの変更は、追加的な財政再建策がない場合、ルーマニアの財政力が今後数年間で著しく弱まる可能性があるリスクを反映している。ムーディーズのベースラインシナリオでは、ルーマニアの財政赤字は 2025 年も GDP 比 7.7%と高水準にとどまり、その後も徐々にしか改善せず、2028 年には政府債務負担が GDP 比 68.5%まで増加する見込み。財政見通しが大幅に改善されない場合、ルーマニアの信用プロフィールが「Baa3」格付けの他国と比べて大幅に悪化するリスクがある。

- **ルーマニア、2024 年の一人当たり GDP（購買力平価換算）で EU19 位に浮上**

- 3 月 27 日、ユーロスタットは、ルーマニアは 2024 年の購買力平価（PPP）換算の 1 人当たり GDP で、EU 加盟 27 カ国中 19 位となり、ポーランドやエストニアと同等の順位となった旨の暫定データを発表した。ルーマニアの 1 人当たり GDP は 2024 年時点で EU 平均を 21%下回っており、クロアチア、ハンガリー、スロバキア、ラトビア、ギリシャ、ブルガリアを上回っている。前年は、ルーマニアは加盟国中 21 位で、1 人当たり GDP は EU 平均を 22%下回った。

(3) 自動車関連

- **ルーマニア 2025 年 2 月のハイブリッド車登録台数は 17.3%増、EV は 34.8%減**

- 3 月 5 日、ルーマニア自動車製造輸入業者協会（APIA）は、運転免許・車両登録総局の統計に基づき、2 月のハイブリッド車登録台数は対前年同月比で 17.3%増となった一方、EV は 34.8%減となり、市場シェアは 6.1%となった旨発表した。

- **Ford Otosan、ルーマニア製初の電気自動車を欧州の顧客やショールームに納車開始**

- 3 月 14 日、Ford Otosan のクライオヴァ工場は、ルーマニアで製造された電気自動車を欧州の顧客やショールームへの納車を開始した。

(4) エネルギー関連

- **OMV ペトロムと Romgaz、ネプチューン・ディープ・プロジェクトの最初のガス生産井を竣工**

- 3 月 24 日、南東欧最大の総合エネルギー企業である OMV ペトロムと、ルーマニア最大の天然ガス生産・主要供給会社である ROMGAZ は、黒海の沖合 160km に位置するネプチューン・ディープ・ブロックのペリカン・サウスおよびドミノ天然ガス田の開発・生産に向けた最初の井戸の竣工を発表した。プロジェクトは計画通りに進行しており、最初のガス生産は 2027 年と推定されている。ネプチューン・ディープは、ルーマニアのガス生産に年間約 80 億立方メートルの貢献をする見込み。また、プロジェクトはルーマニア経済にも貢献し、プロジェクトの存続期間中に約 200 億ユーロの収入を国家予算にもたらす見込み。

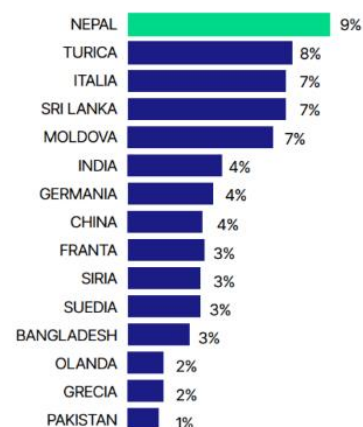
(5) 外国人労働者

● 2025 年 2 ヶ月間で約 1.4 万件の外国人労働許可証が発給

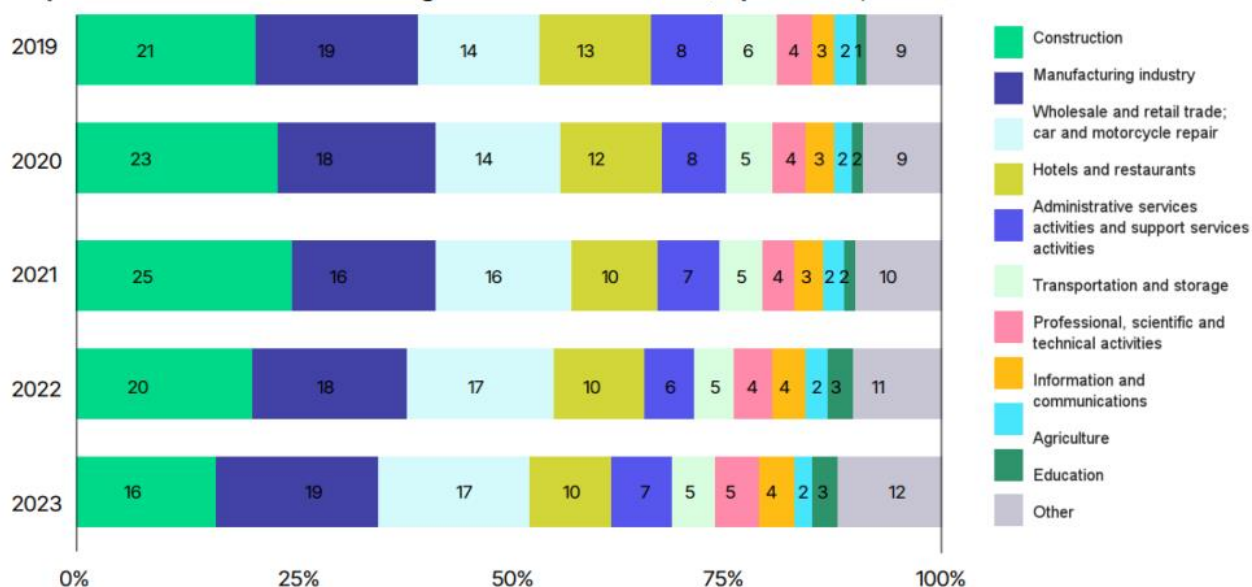
- 3 月 18 日、入国管理局は、今年最初の 2 ヶ月間に約 1.4 万件の外国人労働許可証が発給された旨発表した。発行された許可証の総数のうち、ほとんどが永住労働者に与えられたもので、合計 13,631 件であった。さらに、高度技能労働者に 35 件の許可証が発行され、季節労働者に 42 件、赴任労働者に 29 件、ICT 労働者（同一企業内転勤者）に 10 件の許可証が発行された。

【参考】（右）2023 年のルーマニアにおける外国人労働者の国籍割合、（下）2019 年～2023 年の外国人労働者の就業しているセクターの割合（出典：“Bridging Communities, An Exploratory Study on Labor Immigration in Romania,” 2024.）

Graph 3. Country of origin of foreign citizens in Romania (GII, 2023)



Graph 6. Contracts (%) according to the labor sectors (top 10) (TLI, 2023)



外政

(1) ウクライナ関連

● ウクライナ避難民に対する財政支援を 2025 年 12 月末まで延長

- 3 月 20 日、ルーマニア政府は、ウクライナの武力紛争地域からの外国人市民や無国籍者に対する人道的支援と援助を 2025 年 12 月 31 日まで延長する緊急条例の改正を承認した。この法律は、2024 年 7 月 1 日以前にルーマニアに入国したウクライナの武力紛争地域出身の外国人または無国籍者に対する人道的支援と援助の提供を 2025 年 12 月 31 日まで延長するもの。支給額は単身者は月 500 レイ（約 100 ユーロ）、家族は月 1,500 レイ（約 300 ユーロ）。併せて一時金支給が 3 ヶ月連続で支給される。その金額は単身者が 750 レイ／月、家族が 2,000 レイ／月。

(2) 要人往来

● ボロジャン暫定大統領、英国で開催されたウクライナに関する首脳会合に出席

- 3 月 2 日、16 か国の首脳、EU、NATO がウクライナのための和平計画を調整するためにロンドンで会合を開き、軍事支援、ロシアへの経済的圧力、そしてウクライナの主権支援を約束。「有志連合（Coalition of the Willing）」の結成を通じてウクライナの安全を保障する案を議論。
- ルーマニアはこの和平構想を支持し、ウクライナへの継続的な軍事・外交支援の必要性を強調。また、EU・NATO 加盟国とともに、ウクライナの領土保全を守ることの重要性に同調。

● ボロジャン暫定大統領、欧州理事会に出席、欧州の国防予算とウクライナ支援が議題

- 3 月 6 日、ボロジャン暫定大統領は、ブリュッセルで開かれた欧州理事会に出席した。EU 首脳が欧州の国防費とウクライナ支援について協議した。

● ボロジャン暫定大統領、「有志連合」パリ・サミットに出席

- 3 月 27 日、ボロジャン暫定大統領は、パリで開催された「有志連合」首脳会議に出席した。会議後、連合諸国はロシアへの抑止力として制裁を維持したい、ルーマニアは黒海停戦監視グループ（30 日間のウクライナ停戦を監視する作業部会）に参加する、ルーマニアは平和保証側で結成される作業部会に参加する、平和維持軍はルーマニアを通過する可能性がある、ルーマニアはウクライナに軍隊を派遣せず、平和維持軍は決して前線地域には到達せず、東部側面か、前線から遠く離れたウクライナ領内に配置される可能性がある、ルーマニアは協議にハブ通過国として参加する、東部地域に駐留する NATO 軍の数の増加が議論される可能性がある、等発表した。

(3) ルーマニア米国関係

● ルーマニアの査証免除、発効直前にトランプ政権が「再考」 国土安全保障省が説明

- 3 月 20 日、米国土安全保障省は、ルーマニアの安全保障に対するトランプ政権の懸念に沿い、ルーマニアの査証免除プログラムへの加入を再検討している旨述べた。ルーマニア人は 3 月 31 日から観光やビジネス目的で米国に査証なしで渡航できる予定だった。

(4) ルーマニア中国関係

● ファーウェイと欧州議会のスキャンダル ルーマニア人 3 名を含む欧州議会議員 8 名への賄賂の疑惑

- ベルギー検察当局は、2021 年におけるファーウェイ社の利益を擁護するために、ルーマニア人 3 名を含む欧州議会議員 8 名が執筆・署名した公開書簡を入手するために、ファーウェイが違法な支払いを行ったかどうかを調査している旨発表した。ルーマニアのメディアによれば、3 人のルーマニア人とは、クリスティアン・ブショイ、ダニエル・ブダ、トゥドル・チウホダル。

防衛・安全保障

(1) 事案・イベント等

● 国防省、森林火災の消火活動を実施

- 3月8～9日、国防省は、カラシュ・セヴェリン県で発生している森林火災の消火活動のため、第90空軍輸送基地のC-27J スパルタン航空機を出動させた。8日には4回の支援任務により合計20,000リットルの水を投下し、9日には3回の支援任務で15個のコンテナ（1,000リットルの水）を投下した。

● 実弾処理訓練中、兵士2名が負傷

- 3月19日、ドロレア射撃場（ビストリツァ県）にて実弾処理訓練中に第4歩兵師団の兵士2名が、弾薬の誤作動により負傷した。両名は地域の病院に搬送され、容態は安定している。現在、軍が本件を調査中。

● ルーマニア空軍、イスラエルからの患者をルーマニア、ノルウェーへ移送

- 3月19日、ルーマニア空軍はC-130輸送機により、イスラエルから合計13名の患者とその家族34名をルーマニアに移送した。
- 3月20日、3名の患者と5名の親族がルーマニア空軍のC-27輸送機により、ノルウェーのオスロへ移管された。その他の患者はパートナー国の航空機でフランスへ移管されたほか、ブカレストの病院で特別治療を受けている。

(2) 訓練・演習等

● Sea Shield25 演習の実施

- 3月31日～4月11日、ルーマニアと他の11のパートナー国（※）から2,300人以上の兵士が参加して多国籍演習 Sea Shield25 演習が行われる。ルーマニア海軍が主催するこの演習は、今年最大の訓練イベントとなり、主な目的は、参加部隊間の運用上および戦術的な相互運用性を向上させること。
- ルーマニア海軍は、1,600人以上の兵士と、28隻の艦艇、2機のヘリコプターなどを派遣する。
※ アルバニア、ブルガリア、カナダ、フランス、ギリシャ、イタリア、英国、オランダ、スペイン、米国、トルコ

(3) 主要な会談・会合等

● 国防大臣、クライオヴァの軍病院、外傷救急医療センターを視察

- 3月12日、トゥルヴァル国防大臣は、クライオヴァの軍病院を訪問し、9月に完成予定で現在建設中の外傷救急医療センターを視察した。トゥルヴァル国防大臣は、多発外傷は軍事行動に特有の、望ましくはないが備えを怠るわけにはいかない状況における戦場医療の重要な側面であり、ここ、クライオヴァの軍病院では、国防省が管理する医療システムにとって非常に重要なインフラが整備されるとともに、国内で最も近代的な集中治療室（ICU）のひとつや、熱傷患者用のマイクロコンパートメントも設置され、ルーマニアの医療システムが長年抱えていた懸念が解消されると強調した。また、クライオヴァでの成果が他の駐屯地にも広がれば、現代の標準に適合した質の高い医療サービスをルーマニア国民に提供するという政府の取り組み全体にとって重要な一歩となると述べた。

● 国防大臣、NATO 事務総長と会談

- 3月25日、トゥルヴァル国防大臣はブリュッセルのNATO本部で、ルッテ NATO 事務総長と会談し、黒海地域の安全保障情勢、ロシアによるウクライナ侵略戦争の結果、NATO 東翼における抑止力と防衛態勢を強化するための共同の取り組みについて話し合った。
- 6月に開催されるハーグでのNATOサミットの準備に関して両者は、NATOの戦略的優先事項や新たな安全保障上の課題に対するNATOの対応について協議し、トゥルヴァル国防大臣はルッテ事務総長が掲げるサミットでの目標への支持を伝えた。
- 国防予算に関して、トゥルヴァル国防大臣は、ルーマニアは引き続きNATOへのコミットメントを順守し、2024年にはGDPの2%以上を国防費に充てたこと、2025年には国防予算が再び2%の基準値を超えたこと、そして主要な基

金プロジェクトの効率的な実施について表明するとともに、欧州における産業の生産能力拡大の必要性を強調した。

- そして、トゥルヴァル国防大臣は、2025 年 4 月から 7 月にかけて、ルーマニアの F-16 戦闘機部隊をリトアニアに派遣するとして、ルーマニアの NATO 領空警備任務へのコミットメントを表明した。
- 更に、トゥルヴァル国防大臣は、ルーマニアに設立された欧州 F-16 訓練センター、ルーマニアにおける STEAD FAST DART 演習、ルーマニア軍のポーランド、ブルガリア、スロバキアにおける NATO 戦闘群への積極的な参加など、ルーマニアの NATO 防衛体制への貢献に触れた。
- また、黒海地域におけるパートナー支援の重要性、特にモルドバ共和国に焦点を当て、NATO 東翼近辺におけるレジリエンスと安全保障を強化することなども確認された。

(4) 人員・装備品・防衛産業など

● ルーマニア海軍、コンスタンツァ軍港の開発プロジェクトを提案

- 3 月 4 日、トゥルヴァル国防大臣とグリーンデアヌ運輸・インフラ大臣は、コンスタンツァ港管理局の本部にて、両省の協力により実施されるコンスタンツァ軍港のインフラ開発に関する新たなプロジェクトを発表した。南埠頭のエリアに新たな軍用埠頭を建設し整備することなどが含まれている。
- このプロジェクトにより、運輸・インフラ省の管轄区域を国防省の管轄へと移管するもので、ルーマニア海軍の現有能力、または今後配備される能力、さらには NATO 軍向けの新たな係留区域、および、この分野における最新の基準に準拠して建設される一連の港湾インフラ施設が提供される。

● 第 48 戦闘飛行隊の F-16 戦闘機配属完了記念式典

- 3 月 11 日、クンピアトゥルジーの第 71 空軍基地において、第 48 戦闘飛行隊の F-16 戦闘機配属完了に伴う記念式典が開催され、トゥルヴァル国防大臣、駐ルーマニア・ノルウェー大使、空軍参謀長などが出席した。
- 1 月末に、ノルウェーからの最後の F-16 戦闘機が同飛行隊に到着し、計 16 機の F-16 戦闘機からなる飛行隊が完成した。
- ノルウェーからは、本年中に残り 16 機の F-16 戦闘機が新たにルーマニアに到着予定で、コンスタンツァ県の第 57 空軍基地（ミハイルコガルニチュアーヌ）第 571 戦闘飛行隊に配属される計画である。

我が国との関係

(1) 二国間関係全般

● 対ルーマニア ノン・プロジェクト無償資金協力見返り資金計画

- 対ルーマニア ノン・プロ無償資金協力見返り資金計画「ルーマニア優等情報技術教育促進・支援計画」により、ルーマニア国内の 60 の高校に対する IT 機材の供与を開始。
- 3 月 5 日、工藤参事官は、対ルーマニア ノン・プロジェクト無償資金協力見返り資金計画「ルーマニア優等情報技術教育促進・支援計画」の一環としてのピアトラ・ネアムツ情報高校への IT 機材供与引渡式へ出席した。本計画により、ルーマニア国内 60 の高校に IT 機材が供与された。



● 日本政府 令和 6 年度補正予算で UNHCR ルーマニア事務所を支援

- 3 月 7 日、日本政府が令和 6 年度補正予算から UNHCR ルーマニア事務所の 2025 年の活動に 45 万米ドルを拠出した。同拠出金は、ウクライナ避難民のルーマニア社会への社会経済的な統合や起業支援のための取組に活用される。

(2) 広報・文化関係、大使館主催事業等

● 三重大学・山田教授による忍者セミナーの開催

- 3 月 8 日、大使館は、「アンジェラ・ホンドゥル」ルーマニア日本研究センターと共催で、三重大学の山田雄司教授による「忍者の実像と虚像—忍者の変容」講演会を開催した。講演では、忍者の歴史的な実態、文化的な意義、そしてそのイメージがどのように変遷してきたかについて深く説明された。忍者像が日本文化の一部としてどのように形成されてきたのか、参加者からは多くの質問が寄せられ、活発な議論が繰り広げられた。



● アニソン・カラオケコンテストの開催

- 3 月 8 日、大使館は、「アンジェラ・ホンドゥル」ルーマニア日本研究センターと共催で、アニソン・カラオケコンテストを開催した。
(協賛：CSRJ, East Europe Comic con, Edosushi, Nemira) 8 人の参加者がステージに立ち、人気アニメシリーズの曲を披露し、観客に興奮と懐かしさを届けた。コンテストの最後には、参加者たちの日本の音楽と文化への情熱と熱意を称えて賞が授与された。



● 榎戸二幸氏による琴コンサートの開催

- 3月18～20日、大使館は、琴奏者の榎戸二幸氏を招き、ブカレスト音楽大学、イオン・クレアンガ高校、オビディウス大学及びさくらんぼ協会と共催で、琴のコンサートを開催した。来場者は、演奏や終了後の榎戸氏との交流を通じて、琴の魅力を堪能し、日本の伝統文化をより身近に感じる機会となった。



● 日本語プレゼンテーションコンテストの開催

- 3月29日、大使館は、日本語教師会と共催で、第9回日本語プレゼンテーションコンテストを開催した（協賛：Exact Tours、Free Sprit、Japan Airlines、Japan by Myself、在ルーマニア日本商工会、Makita Romania、Yuki Restaurant、在ルーマニア日本人会）。20名の参加者が、日本文化、テクノロジー、アニメなど、幅広いテーマで想いを込めたプレゼンテーションを披露し、参加者の個性が輝く素晴らしいコンテストとなった。



● 元国費留学生の会の開催

- 3月28日、大使館は、元国費留学生の会を開催した。ルーマニアからはこれまで400名以上が国費留学生として日本に留学し、現在も様々な分野で活躍している。この会は、そうした方々の繋がりを深め、新たな世代の留学生へと橋をつなぐ貴重な機会となった。今回は新たに渡日する3名の留学生の門出を祝うとともに、ルーマニアに留学する日本人留学生も招き、日ルーマニア間の学生交流の機会とした。

